

# 自動車LCAプラットフォームプロジェクト

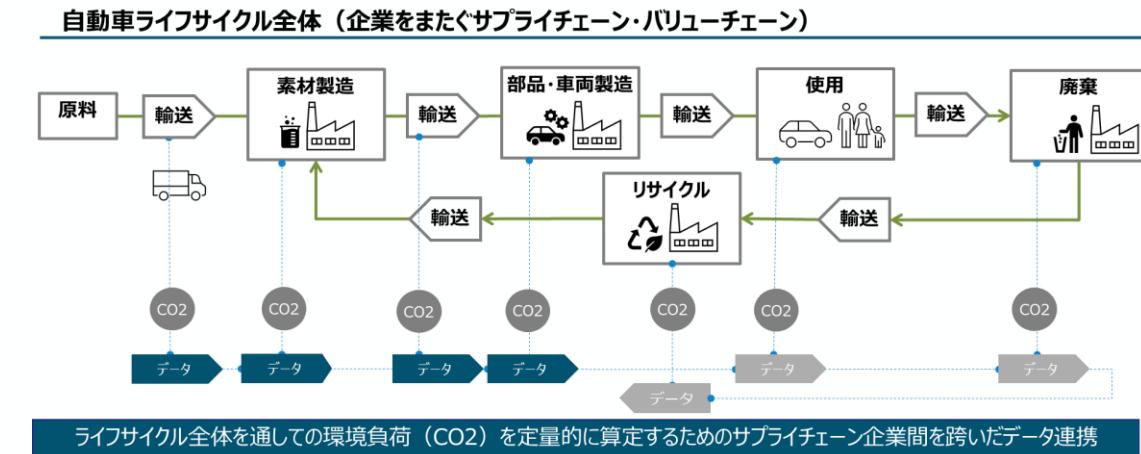


ライフサイクル全体を通じて自動車1台あたりのCO2排出量を定量的に算定するため、サプライチェーンを跨いだ企業間データ連携を目指す取組。

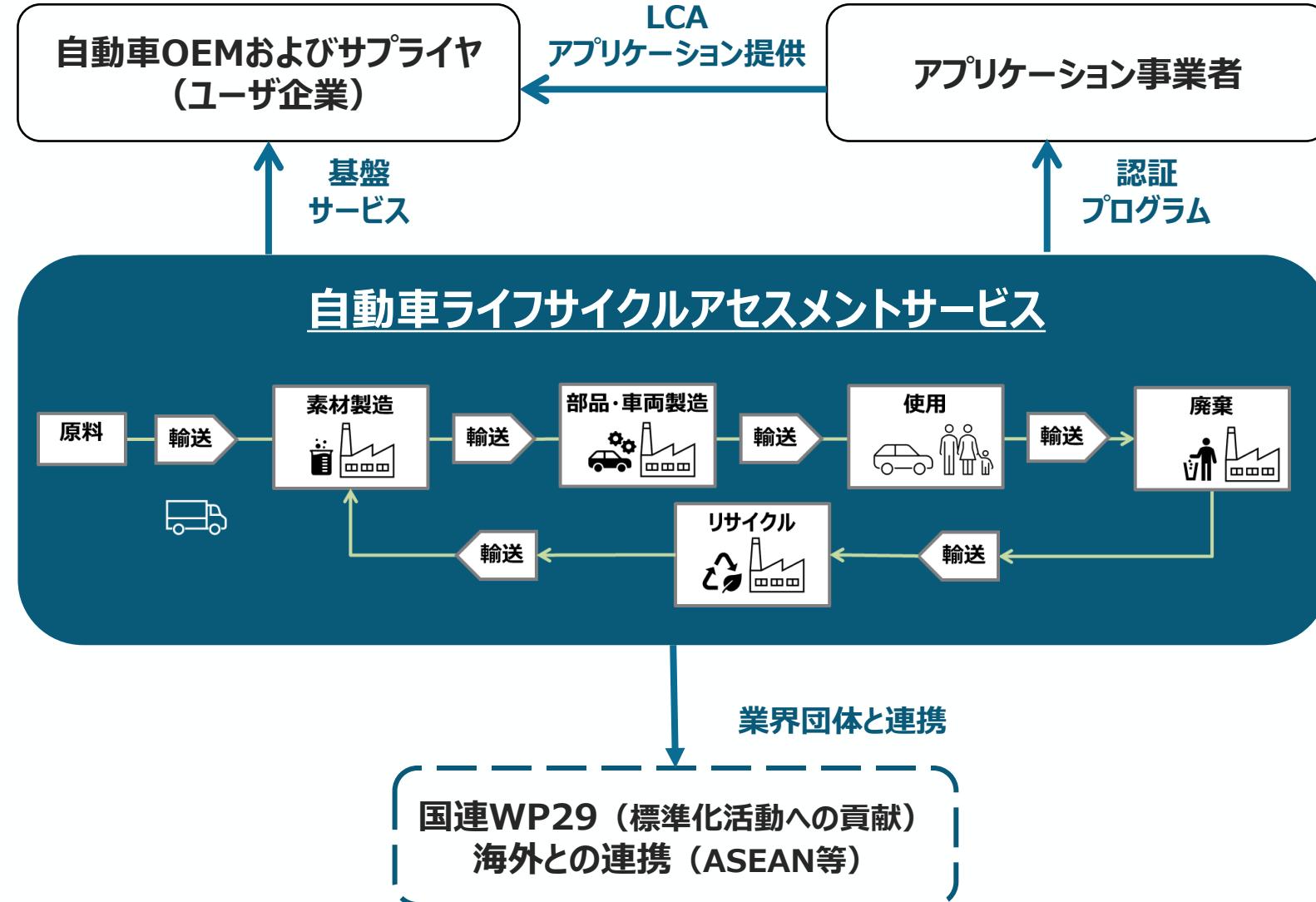
## プロジェクト詳細

プロジェクト代表者	一般社団法人 自動車・蓄電池トレーサビリティ推進センター 理事 倉田 真理子
連絡先・ウェブサイト	<a href="mailto:contact@abtc.or.jp">contact@abtc.or.jp</a> <a href="https://abtc.or.jp/">https://abtc.or.jp/</a>
プロジェクトの特徴・アピールポイント	自動車業界において、データ主権を担保しながら企業間のデータ共有を促進する基盤構築や、データを登録するためのアプリケーションを開発する事業者の誘致・育成、経済合理と利便性が両立するLCA原単位データベースの社会実装等を通じて、多様な参加者によるエコシステム構築を目指します。
選定日・応募内容	2025年7月23日 ( <a href="#">応募内容</a> )

## プロジェクト概要図



# 参考1：自動車LCAプラットフォームプロジェクト



# 参考2：自動車LCAプラットフォームプロジェクト

サプライチェーン間で収集したデータを分析することで、影響の高い要因の特定を行いCO2低減を目指す。

アセスメントの分析例。※数字はダミー値

CO2排出量 計: **18.9 kgCO2e**

分析対象選択

- モジュール
- セル
- 正極材
- 負極材
- 電解液
- 正極活物質
- バインダー

部品別 CO2排出割合	
モジュール	100.0%, 18.9
セル	90.0%, 17.0
正極材	80.0%, 15.1
正極活物質	35%, 6.6
バインダー	5.0%, 0.9
負極材	10.0%, 1.9
電解液	8.0%, 1.5

一次データ寄与率/計算比率  
**26.7 %/34.8%**



材料別

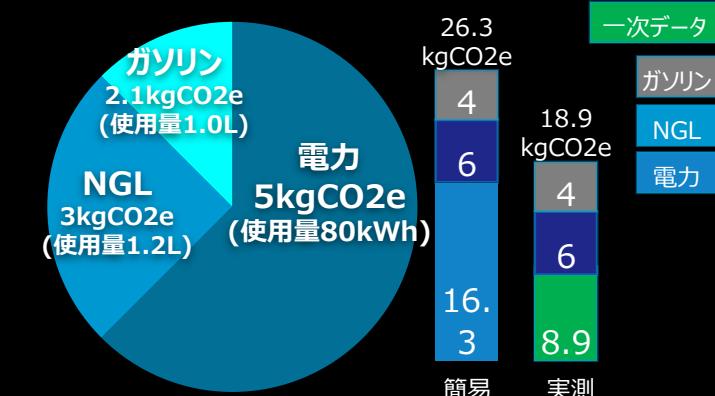


一次データ寄与率/計算比率  
**31.3 %/14.0%**



エネルギー別割合

一次データ寄与率/計算比率  
**28.1 %/48.2%**



取引関係例



# 参考3：自動車LCAプラットフォームプロジェクト



実証事業を通してデータスペースについての要件定義、プロトタイプ開発、有効性検証等に着手。

## 事業内容

デジタルツール及び業界共通の運用基盤の整備に向けた取組を実施。

- 1 自動車 LCA の業務シナリオ及び算定アプリケーションの要件仕様を定義する。
- 2 「インベントリデータベース IDEA\*1」の利便性向上のための実証及びヒアリングを行う。
- 3 多様なステークホルダ間の円滑な連携に向けて関係者間の意見交換を実施する。

## 事業ステークホルダ

実利用者である複数の自動車メーカー サプライヤの協力を得た上で、試行的な自動車 LCA の実証及びヒアリングを実施した。加えて、利用者の利便性を考慮し、自動車 LCA の算定アプリケーションが二次データを参照し計算できるようにするためのワンストップの仕組みを検討した。



\*1: 「インベントリデータベース IDEA」 (<https://riss.aist.go.jp/idealab/>)